

ひびき

【目次】

公開講演会案内	- 1 -
パソコン講座報告	- 2 -
りゅうがさき市民活動フェア案内	- 2 -
おじゃましまーす（活動紹介）	- 3 -
お知らせ・助成金情報	- 4 -

龍ヶ崎市民活動センターは、社会貢献活動を行う団体を支援するための施設です。
会議スペース・作業スペース・印刷機・紙折り機・パソコンなどがご利用いただけます。

〒301-0012 龍ヶ崎市上町4200-1 TEL 0297-63-0030 / FAX 0297-63-0571

E-mail r-suwan@titan.ocn.ne.jp URL http://www11.ocn.ne.jp/~r-shimin/

開館時間＝午前9時～午後7時（祝日は午後5時まで）休館日＝日曜日および年末年始

公開講演会

地域の課題を地域力で解決！

～住み続けたいまちにするために～

私たちの住むまちを魅力ある住み続けたいまちにしていくためには、住民自治組織ばかりでなく地域のNPOが参加して、地域の課題を解決していく手法などを講演いただきます。

日時 平成23年2月26日（土）

午後2時～午後4時

場所 龍ヶ崎市文化会館 小ホール

定員 100人 *募集については、12月下旬に行います。

講師 IIHOE「人と組織と地球のための国際研究所」

かわきた ひでと

代表 川北 秀人さん



川北 秀人さん

講師プロフィール

64年大阪生まれ。87年に京都大学卒業後、(株)リクルートに入社。国際採用・広報・営業支援などを担当し、91年に退職。その後国際青年交流NGO「オペレーション・ローリー・ジャパン」の代表や国会議員の政策担当秘書などを務め、94年にIIHOE設立。NPOや社会責任・貢献志向の企業のマネジメント、環境・社会コミュニケーションの推進を支援している。主な著書：隔月刊誌「NPOマネジメント」

『市民組織運営の基礎』

『NPO大国アメリカの市民・企業・行政』

問い合わせ：龍ヶ崎市民活動センター 0297-63-0030

市民活動団体のためのパソコン講座～ワードの便利技～

を開催しました

日 時：9月28日～30日 午後1時30分～3時30分

場 所：市民活動センター 会議スペースにて

参加者：7人

平成18年度より毎年、市民活動をされている方を対象に各種のパソコン講座を開催してきました。

今回の講座は「普段使い慣れているワード機能を知りつくそう！」とのテーマで、ワードの便利技を習得する講座を3日間連続して実施しました。

講師には、NPO法人茨城県南生活者ネットの原山さんを中心に講義をしていただき、森田さん・森本さん・武藤さんには補助講師としてマンツーマンに近い状態でご指導をしていただきました。

3日間のメニューは次のとおりです。

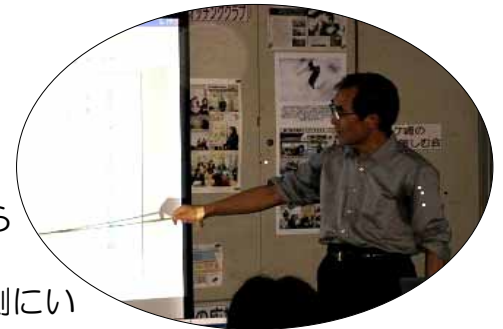
1日目：アピールする文書作成入門

2日目：イラスト作りに挑戦してみよう

3日目：これでWORDと仲良くなれる！？

受講された方々も熱心に質問をするなど、強い意欲が感じられました。

「今後も継続的に講座を開いて欲しい」「補助講師の方が側にいてくれて安心して受講出来た」などの声をいただきました。



講師：原山揚雄さん



分からないところはその場で聞けます



スクリーンと自分のパソコンを見比べて

りゅうがさき市民活動フェア開催予定

パネル展示で活動をPRしよう！

今回で4回目を迎えました「りゅうがさき市民活動フェア」は、会場を変更し、次のとおり開催します。

日 程：平成23年2月中旬から3月上旬までの期間で、1日または2日間の開催を予定しています。

会 場：光のモール（サプラ・イトーヨーカドー1F通路）

募集期間：12月下旬～平成23年1月中



おじゃましまーす！

登録団体の活動紹介

NPO法人クラブ・ドラゴンズ

代表者 那須 信晶 さん

取材日：9月18日

場 所：流通経済大学ラグビー場

地域社会の活性化につながるような「場」を作りたいという思いから設立して10周年になります。

会員は流経大の職員とラグビー部員が中心となり活動しています。少子化やさまざまな教育問題が起きている状況において、子どもたちにとって、地域社会の子どもから大人までが年齢や職業、居住地域に関係なく自由に交流ができる場として、さまざまな

事業を展開しています。

この日は、流経大ラグビー場において、ラグビークラブU-12・U-15の小・中学生約60人が参加して練習を行いました。コーチや流経大ラグビー部の学生から、タックルやスクラムなどの技術指導を受け、また、ダンベルを使用したトレーニングを受けるなど、大粒の汗を流し、楽しみながら真剣に取り組んでいる子どもたちの姿が印象に残りました。

後半には、U-15のメンバーが大学生と試合形式による練習でレベルアップを図り、元気いっぱいグラウンドを走り回っていました。一般の小・中学生と比べると、身体も一回り大きく、たくましく、目の輝きも違うように感じました。

同NPOでは、ラグビークラブ・サッカークラブ・フリスク*1・ドラ塾*2・文学講座を開設しています。

代表的那須さんは「もっとパーティション*3を増設して、クラブ・ドラゴンズを核とした仲間たちを増やし、クラブ・ドラゴンズを卒業してもそれぞれの立場で活躍し、地域社会の人的交流の活性化に貢献して、まちを元気にしたい」と話されていました。

なお、随時、賛助会員の募集や個人・法人・団体を問わず活動を支援して頂ける方の寄付を受け付けております。

【お問い合わせ先 0297-60-1174 富山(流通経済大学体育指導センター内)】

*1フリスク：フリースクール。子どもたちと楽しく遊ぶことを目的としたサークル。

*2ドラ塾：中学生を対象として、主要5教科(国・数・理・社・英)を受験塾ではなく、補習塾として実施している。

*3パーティション：クラブや講座など、個別ごとの活動分野。



指導をする大学生



タックルの練習

龍ヶ崎おもちゃ病院

代表者 金子 隆 さん

取材日：9月26日

場 所：市街地活力センターまいん

おもちゃの修理を通して子どもたちに、親子や人々とのふれあい、人や物への思いやり、省資源とリサイクル、科学技術などへの関心と興味を持ってもらえるようにと活動を始めて6年が経過したそうです。

これまで読売新聞や常陽新聞、さらには茨城放送でも紹介され、毎月第4日曜日午前10時から正午まで市街地

活力センターまいんで活動しています。

当日は、りゅうほーお知らせ版に活動案内が掲載されたこともあり、大勢の親子づれが、ラジコン・ゲーム機・電車・水鉄砲など動かなくなったおもちゃの診察を受けていました。

驚いたことに、おもちゃ一品ごとに診察カルテを作り、動かなくなった状況や過去に分解したことの有無など、病院と同じように問診を行い、動かなくなった状況などを聞いて修理に活かすそうです。

おもちゃの部品は、電化製品のように在庫部品がなく、交換する部品はほとんど代用品、または、スタッフ手づくりのもので交換や修理をします。

最近のおもちゃは、圧倒的に乾電池で動かすタイプのものが多く、ゼンマイなどを使ったものはあまり見かけないそうです。

代表の金子さんは、「大切にしていたおもちゃが壊れてしまった場合は、一度持って来てもらい、おもちゃ病院のメンバーがその場で説明しながら修理します。修理は無料ですが、部品代のみ実費で頂き、修理に時間がかかる場合は、お預かりになることもありますのでご了承ください」と話されていました。

【お問い合わせ先 0298-74-6416 金子 隆】



手元を熱心に見る子ども



修理道具も本格的

お知らせ

新規登録団体

今年度10月末現在で登録した団体をご紹介します。

愛in龍ヶ崎（代表：大野美智子さん ☎64-8820）

知的障がい児・者支援（知的障がい者グループホーム「友歩」・多機能型障がい支援「ミントの家」・児童デイサービス「りとるミントの家」）

宮城一座（代表：宮城謙一さん ☎66-7222）

介護施設などの入所者や利用者の人達に、懐メロや歌と踊りを通し励ます活動

ピア・カウンセリングむいむい（代表：金子憲司さん ☎65-4405）

対話を通じてコミュニケーションを円滑にするためのメンタルヘルス及びカウンセリングの学習・レクリエーションを実施

たつのこプロジェクト実行委員会（代表：金久由美さん Fax61-5418）

住む家と人の関係を見直し、安全・安心・幸せに暮らしていける環境づくりを目指す活動

助成金情報

詳しくは市民活動センターホームページをご覧ください

助成団体	助成対象・内容	応募締切
(財)郵便事業 Tel 03-3504-4401	営利を目的としない法人格をもつ団体助成。高齢者・障がい者・地域社会福祉など	11月30日
(社)日本河川協会 Tel 03-3238-9771	「きれいな川と暮らそう」基金。川や水辺で活動を行っている学校や市民団体対象	11月30日
いばらきコープ環境基金事務局 Tel 0120-160231	茨城県内で地域の自然環境、地球環境及びくらしなどに関する活動に取り組んでいる団体・個人	12月3日
(財)日本社会福祉弘済会 Tel 03-3846-2172	社会福祉関係者の資質向上に関する調査・研究の助成	12月15日
(財)ヤマト福祉財団 Tel 03-3248-0691	障がい者福祉助成。会議・啓発・調査・研究・施設・備品など	12月31日
(財)いばらき文化振興財団 Tel 029-305-0161	茨城県内で行われている県民(個人・団体)の自主的で个性的な文化活動支援	1月31日 必着

編集後記



肌寒い季節になりました。夏の暑さがずるずると長引いたせいか、急に季節が変わった気がします。

今年は天候不順のせいで、農産物は高値が続いています。秋の味覚も不調のようで、庭の柿も実がほとんどついていません。数少ない柿はきっと鳥の餌になってしまうでしょう。秋の実りを思い切り堪能できないのは残念ですが、今回は鳥に譲って、人間の方は絵で楽しむ事にしましょう。

